

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年5月分)

子育て当事者

番号	ご意見	市の考え
1	千里ヶ丘幼稚園を再開していただきたいです。 隣接の千里ヶ丘小学校は人数の多い学校です。その学校のプールで遊べたり、同じ給食を食べたり、学校の先生が遊びに来てくれたりなど、たくさんの交流がありました。 行った事がある、知っている、というのは新しい環境に入っていく子供達にとって、心強いものだと思います。 親からしても、幼稚園と学校の繋がりがあことは安心材料です。実際、幼稚園で行事がある際は小学生の兄弟が幼稚園に来て1人で留守番する必要がなかったり、小学校の授業参観の際も、幼稚園に通う下の子を終わるまで預かってもらえたりと、幼稚園のご厚意に助けられる事が多々ありました。 今、千里ヶ丘小学校に通う子供と、来年度幼稚園に通う子供がいます。兄と同じ給食を食べている、兄が通う学校と交流できる、という体験をして小学校への不安を少しでも軽くしてほしい。そう思っています。何卒よろしく願いいたします。	【幼稚園と小学校の連携の取組について】 地域の幼稚園としてご利用いただいていた千里ヶ丘幼稚園ですが、年々園児数が減少し、集団による学びの保障が難しくなったことから、令和8年度より休園しています。小学校への入学については保護者様やお子様にとって不安を感じられることと思います。そこで、津市では従来の園児・児童の交流の他にも、園・校の教職員が子どもの姿を通した話し合いを行い、1年生が園で経験してきた学びを小学校教育につなげ「やってみたい」という気持ちをのばしていくための取組として「津市架け橋プログラム」をすべての小学校区において進めております。津市内全ての園からどちらの小学校へ入学していただいても1年生が自分らしさを発揮できるように取組を進めます。また、近隣の津市立黒田幼稚園においては黒田小学校及び千里ヶ丘小学校との交流活動も行っており、園児が各小学校へ訪問する機会を設けています。学校教育課(059-229-3391)

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年5月分)

子育て当事者

番号	ご意見	市の考え
2	教員の確保を、しっかりやっていただきたいと思います。 小学生の子の担任がめでたく妊娠された際、いつまでたっても代わりの先生が見つかりませんでした。 そのため、産休の時期もなかなか決まらず、先生は体調不良をこらえて、必死になって仕事に当たられていました。 秋頃に出産予定でしたが、1学期の終業式でも新しい担任は決まらず、子どもたちは不安なまま夏休みに入りました。 お腹に赤ちゃんがいて先生はつらそうなのに、先生の具合が悪くなったら赤ちゃんだって苦しくなるのに、どうして先生は休ませてもらえないのか。少子化の世界で子どもを産もうとしている人が、なんでこんなに大変な目に遭うんだと、先生の子どもが死んじゃったらどうするんだと、子は毎日のように不満を口にしていました。 その前の年は、出産の1週間前まで学校で仕事をされていた先生がいたそうです。お腹が大きくなって歩くのも大変そうなのに、ずっと代わりの先生が見つからず、産休3日前ぐらいにやっと見つかって、やっとお休みに入れたんだ。かわいそうだったと話していました。 産休に入れず、体調不良を押して授業をしている先生を毎日見た子どもたちが、津市に住み続けたいと思うのでしょうか。津で子どもを産み、子育てしようと思うのでしょうか。 また、津で教師を目指そうと思うのでしょうか。 いくら命の授業で、子どもを授かることは尊い、喜ばしいことだと伝えても、目の前の先生が苦しんでいたら？ 出産は喜ばしいことではない、妊娠してもつらい目にたくさん遭うんだというメッセージを受け取るのではないのでしょうか。 まずは先生方の待遇を改善してください。めでたく子を授かった先生方が、早めに穏やかに産休に入れるよう、体調不良のときは心置きなく休めるよう、学校まかせではなく、教育委員会や津市としてしっかり考えて対策してください。若い先生方が心置きなく出産・育児をできるよう、サポートしてあげてください。	【教員の確保について】 教員の確保については、三重県教育委員会とも連携して進めておりますが、特に、年度途中からの休暇に伴う代替講師の確保が難しい状況にあります。担当教員が休暇に入る際の代替講師がすぐに見つかることが望ましいものの、それが叶わない場合には、校内で体制を組み、児童生徒への影響を可能な限り少なくなるよう、対応をしています。 本市教育委員会としては、これまでも実施していた「学校で働いてみませんか？相談会」（教員免許を持っているものの現在教員として勤務をされていない方を対象とした相談会）の実施回数を増やすなど、講師の確保に努めています。 なお、産前休暇については、出産予定日の8週間（多胎妊娠の場合は14週間）前から取得できることとなっています。出産予定者の多くは、8週間の産前休暇を取得しており、出産の1週間前まで勤務していたとの事実は確認できておりませんが、今後も安心して産休を取得できるよう、講師の確保等に努めます。学校教育課（059-229-3244）

こども・若者、子育て当事者意見ボックス(令和8年5月分)

子育て当事者

番号	ご意見	市の考え
3	先日、高茶屋小学校の1年生が車と接触して死亡してしまうという悲しい事故が起きました。 息子も高茶屋小の1年生です。4月に入学して登校に付き添っていますが、通学路について意見があります。 事故現場を含め小学校から離れた地区は、スクールゾーンである啓発が弱いのではないかと感じています。 通学路の道中に飛び出し注意の看板がありますが、劣化してしまって目立たない状態になっています。飛び出し注意の看板や道路標識の整備をお願いしたいです。 歩道の白線も消えかけているところがあります。子供達も運転手も目で見てわかり、留意できるような状態の整備が必要ではないかと感じています。 警察官の方も事故後は登下校の時間帯に交通誘導をしてくださっています。大変ありがたいことなのですが、一時的なものではないかと思っています。 私は自分の住む地区のことしかわかりませんが、通学路は学校から指定がありますので、学校と上手く連携して啓発を強化する箇所を広げていただきたいと思います。(高茶屋小学校の周辺はとてもよく整備されています) 安心して学校に送り出せるような通学路にしてほしいです。よろしくお願いいたします。	【通学路の安全確保について】 登下校時においては、特に下校時の見守り体制を強化するため、PTAや地域の方々に協力を依頼し、児童たちの見守りを行う人数を増員しています。 さらに、安全ボランティアに登録している保護者の方々には、5月18日(月)に緊急で集まっていただき、担当地区を決めて見守りを行っています。 また、5月14日(木)の放課後に実施した教職員による通学路点検をもとに、6月1日(月)には地区別集会を行い、児童たちとともに危険箇所を再確認し、歩行の仕方や横断の仕方等について指導しました。 今後も、毎月、地区担当教員が下校ルートの見回りを行うとともに、交通指導を継続し、児童たちが安心して学校に通える体制を整えていきます。 なお、当該事故を受けて、7月にPTAから危険箇所のカラー舗装やポールの設置についての要望がありました。通学路の安全確保に向けては、津市通学路交通安全プログラムに基づき、通学路上の危険箇所について、教育委員会や学校、警察、道路管理者等の関係者が連携して通学路の合同点検を行うなど、改善要望箇所の実現に向けて取り組んでいます。学校教育課(059-229-3245)、教育研究支援課(059-229-3243) 【看板や道路標識の整備について】 高茶屋小学校周辺の現地確認を行い、既に明示されている路面標示の一部に劣化を確認いたしました。 劣化している道路標示の復旧とともに、新たな路面標示または注意看板による啓発については、効果的な路線や路面標示場所を津市通学路交通安全プログラムの中で協議し、整備を検討します。津南工事事務所(059-254-5351) 【警察官の交通指導について】 津市では交通安全教育プロバイダによる交通安全教室の実施、小学校新入生への黄色い帽子又は黄色い傘の配布、三重県、警察等関係機関と連携した広報啓発の実施など、子どもの交通事故防止対策に取り組んでいます。 また、高茶屋小学校区を管轄する津南警察署に確認したところ、「通学路の交通安全対策は、交通規制、交通安全指導等の対策を講じる上で、重点の一つであると考えています。高茶屋小学校区についても同様です。しかし、対策を必要とする通学路は多くありますので、緊急性、必要性等を勘案して対策を講じているところです。」との回答を得ています。市民交流課(059-229-3142)